

Dossier PERU JAPÓN 2023

ドシエ・ペルー2023



INDEX	1P
TOP 3 DESTINATIONS	2P-4P
GASTRONOMY	5P-8P
AWARDS	9P
GREEN DESTINATION	10P-11P
HERITAGE	12P-13P
COMMUNITY-BASED	14P-15P
NEW PRODUCTS	16P-18P
LUXURY	19P-20P
TRAVEL NEWS	21P-22P
About PROMPERU & CONTACT	23P



Lima (リマ)

ペルーの首都は、芸術、ファッション、音楽、文化、そして終わりのない夜の冒険を提供する。

王の都として知られ、植民地時代や先ヒスパニック時代の遺跡が豊富にある。街を探索するのに最適なポイントは、ペルーの首都の中央広場であるマヨール広場だ。

1938年に建てられた政府宮殿もここにある。

リマの海岸沿いの景色を楽しみたいなら、ミラフローレス地区がおすすめだ。また、近代的なショッピングセンターだけでなく、博物館や美術館もいくつかある。リマの料理は間違いなく、世界でもトップクラスの食の都として素晴らしく、ふさわしい地位を獲得している。



Lima downtown, Plaza Mayor / Photo: Karina Medina/PROMPERÚ



Lima downtown, Plaza Mayor / Photo: Karina Medina/PROMPERÚ

Arequipa (アレキパ)

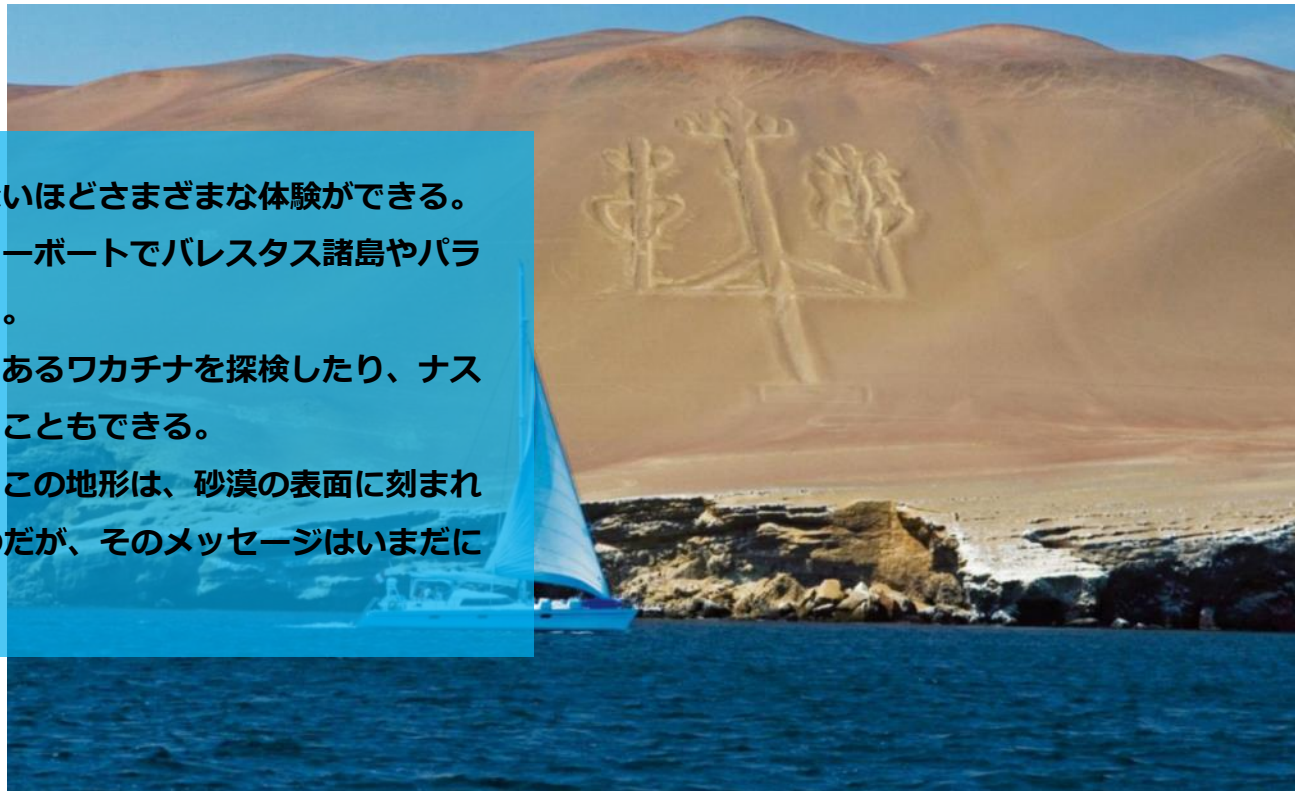
アレキパはペルーで2番目に人口の多い都市で、ピラーと呼ばれる白い火山岩を使ったバロック建築の建物のために「白い街」として多くの人に知られている。

ペルーの海岸と南部高地の間に位置するこの街は、周囲の3つの火山とアンデス西部の雪を頂いた峰々の息を呑むような眺めを特徴としている。

2000年にユネスコの人類遺産に登録されたこの町は、ロコト・レレノ（ピーマンの肉詰め）やチュペ・デ・カマロネス（エビのチャウダー）などの多くの伝統料理発祥の地として、ペルーの食文化の中で基本的な役割を果たしてきた。また、コルカ渓谷への旅行や数日間のハイキングに出かけ、雄大なアンデスコンドルを眺めるには理想的な拠点でもある。

Ica (イカ)

広大なイカ砂漠では、信じられないほどさまざまな体験ができる。野鳥や地質が好きな人は、モーターボートでバレスタス諸島やパラカス国立公園へ行くことができる。冒険好きなら、砂漠のオアシスであるワカチナを探検したり、ナスカの地上絵の上空を飛んだりすることもできる。ユネスコの世界遺産に登録されたこの地形は、砂漠の表面に刻まれた長さ300メートルにも及ぶものだが、そのメッセージはいまだに解読されていない。



美食

GASTRONOMY

ペルーには5,000年以上の歴史があり、豊かな国土と文化の多様性により、非常に多様な美食が存在する。2023年までに約277,651人の外国人観光客がペルーを訪れると推定されており、その主な動機のひとつはペルーの食を試すことである。美食は、マチュピチュを訪れること、その文化や歴史を知ることに加え、3番目の動機となっている。

ペルーの有名なフュージョン料理は、スペイン人、アフリカ人、中国人、日本人、イタリア人やその他の入植者との長い文化交流の過程で発展してきた。民族が混ざり合い、移民がカヤオの港に上陸するにつれて料理はますます多様化し、それぞれの都市や地域が独特の風味を持つ郷土料理を誇るようになった。

ペルー・アマゾン

ペルーのジャングルで採れる食材の多様性、新鮮さ、色、風味は群を抜いている。カカオやコーヒーなどの製品は、その代表的な素晴らしいものだ。ココナ、カムカム、アグアヘ、ピタハヤといったエキゾチックなフルーツは、国内市場でますます認知されるようになり、レストランでも自信を持って提供されている。郷土料理としては、チェーナ入りタカチョ（燻製肉入りのフライド・プランテン）、ファネス（葉で包んだ鶏肉入りおにぎり）、パタラシカ（葉で包み調理された魚）、インチカピ（ピーナッツ、トウモロコシ、ユッカを挽いたスープに鶏肉スープを加えたもの）などがある。また、パイチェ、ガミタナ、ドラドなどの川魚もこの素晴らしい食文化の主食である。

郷土料理としては、チェーナ入りタカチョ（燻製肉入りのフライド・プランテン）、ファネス（葉で包んだ鶏肉入りおにぎり）、パタラシカ（葉で包み調理された魚）、インチカピ（ピーナッツ、トウモロコシ、ユッカを挽いたスープに鶏肉スープを加えたもの）などがある。また、パイチェ、ガミタナ、ドラドなどの川魚もこの素晴らしい食文化の主食である。



ファネス, モヨバンバ - San Martín / 写真: Flor Ruiz/PROMPERÚ

北部地域

トゥンベス県、ピウラ県、ランバイエケ県は食の回廊の一部であるが、それぞれが独自の個性を持っている。ほとんどの北部沿岸地域では、海産物の品質と鮮度が高い。このため、セビチェ、ハレアス、スダドス、パリウエラといった地元の珍味が、皆を喜ばせる。

チクラヨ市（ランバイエケ県の県都）は、ロチェ・カボチャ（料理の起源はインカ帝国時代以前まで遡る）やペルーの唐辛子、チチャ・デ・ホラ（発酵させたトウモロコシから作られる、代々受け継がれる飲み物）など、その土地の食材で群を抜いている。



Ceviche Mixto / 写真： Erick Andia/PROMPERÚ



パリウエラ/ 写真： MANCHAMANTELE

首都リマ

リマは、ストリートフードでも高級レストランでも、膨大な高品質で独自の食の選択肢があるため、ラテンアメリカの料理の首都という称号を得ている。その魅惑的な料理は、様々なシーフードや有名なセビチェを主役とした豊富なメニューを提供している。アフリカの影響は、炭火で焼く牛の心臓の串焼きであるアンティークーチョのような料理に革新をもたらした。中国の影響も、アロス・チャウファ（醤油、鶏肉の小間切れ、卵、チャイブのチャーハン）やロモ・サルタード（フライドポテト、トマト、タマネギ、ペルーの黄色い唐辛子を添えた牛ヒレ肉のソテー）といった新しい料理につながった。デザートは、紫トウモロコシをベースにしたマサモラ・モラーダや揚げたピカロネスなど、もうひとつの創造性の源である。チチャ・モラーダとして知られる紫トウモロコシの飲み物は、リマの伝統的な飲み物だ。

アレキパ

地元のレストランはピカンテリアとも呼ばれ、田舎の生活を食事と融合させている、この地方に古くから伝わる習慣を現代的に表現したものである。これらの伝統的なレストランでは、自然の熱源が調味料の香りを強めるため、今でも薪の火を使って調理している。



Rocoto relleno and pastel de papa, アレキパ / 写真： Karina Mendoza/PROMPERÚ



Peruvian gastronomy / 写真： Sandro Aguilar/PROMPERÚ

バレンシアで開催された2023年度の「世界のベストレストラン50」の授賞式で、セントラルが世界最高のレストランに選ばれた。この受賞で、ラテンアメリカが世界で初めてこの賞を受賞したことになる。さらにこのリストでは、ペルーのレストランのマイタ（47位）、コジェ（28位）、まいど（6位）の名前も挙がっている。

2023年度のワールド・トラベル・アワード南米版で、ペルーは以下の賞を受賞した： マチュピチュのベスト・ツーリスト・アトラクション賞、ベスト・カルチャー・デスティネーション賞、ベスト・リーディング・デスティネーション賞、ベスト・キュリナリー・デスティネーション賞だ。

2022年に、ペルーは、ヨーロッパにおける世界有数の高級チェーンであるセランディピアンズ（トラベラー・メイド・アワーズ）により、世界で最も好まれる観光地に認定された。

ペルーは、ナショナル・ジオグラフィックの2023年度のベスト・オブ・ザ・ワールドのリストにも含まれている。

2011年3月23日、米州機構（OAS）は、ペルーの美食をアメリカ大陸の世界文化遺産に認定した。

ペルーは、地球上で最も生物多様性の豊かな国のひとつで、117ある生命圏のうち84が存在する。ペルーには12の国立公園、11の国立保護区、7の国立保護区、10の保護区、6の保護林、そして7の共同保護区（周辺住民のために野生動物の保護を目的とした地域）がある。

ペルーはまた、世界で2番目に鳥類の種類が多い、世界規模のバードウォッチングの理想的な目的地として位置づけられている。バードウォッチング関連のアクティビティをするためにこの国を訪れる旅行者は、長期にわたって滞在する。平均16泊で、平均的な外国人観光客の滞在日数を上回る。ペルー北部には、あらゆる種類の鳥類、多くの固有種をその最大の素晴らしさの中で楽しめる場所が無限にある。

2022年には、ペルーの9つの観光地がグリーン・デスティネーション・ストーリー賞を受賞した： バファーハ・ソネネ国立公園、マヌ国立公園、パラカス国立保護区、ティンゴ・マリヤ国立公園、コルカ渓谷、パカヤ・サミア国立保護区、タンボパタ国立保護区、ボスケ・デ・ボマック歴史保護区、アルト・マヨだ。



タンボパタ国立保護区、マドレ・デ・ディオス / 写真：マルティン・パウカ/プロムペルー

ノーザン・バーディング・ルート

ペルー北部は、アンデス山脈、砂漠、乾燥林、雲霧林、アマゾンの低地など、多くの生態系が存在するバードウォッチングの天国である。

「ノーザン・バーディング・ルート」では、オナガラケットハチドリやハジロシャクケイを含む1,200種以上の野鳥を観察することができる。

セントラル・バーディング・ルート

このルートでは、リマの太平洋沿岸地域、ティクリオ（15,807フィート）の世界一高い峠、アンデス山脈の東斜面、息を呑むようなアマゾンの湿った常緑樹林などで、対照的な多くの種を見ることができる。

サザン・バーディング・ルート

これは、観光インフラのある、ペルーで最も有名なバードウォッチングのルートである。有名なマチュピチュとクスコの街、コルカ渓谷、バレスタス諸島、マヌとタンボパタのアマゾン地域がある。



Pelicans at Paracas National Reserve, Pisco - Ica / 写真： Alex Bryce/PROMPERÚ



Cock of the rocks, National Park Yanachaga, Oxapampa - Pasco / 写真： Ernesto Benavides/PROMPERÚ

遺産

HERITAGE

モチエ・ルート、ペルー北部の旅

モチエ・ルートといえば、西暦100年から900年の間にペルー北部に定住した文化の歴史と比類ない考古学的な豊かさに満ちた町と同義である。

シパン王墓

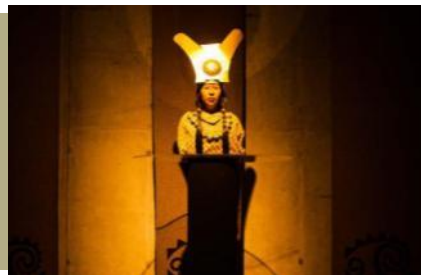
ランバイエケ県で発見された。ウォルター・アルバ率いる考古学者チームは、1987年に、裕福な財産や指揮の象徴とともに埋葬された重要な指導者の墓を発見した。調査によると、シパンの領主は1770年前に亡くなり、半神と考えられていた。合計600個の金、銀、宝石が、彼の墓から発見された。



シパン王博物館 / 写真： Renzo Tasso/PROMPERÚ

レディー・オブ・カオ

2005年に発見されたレディー・オブ・カオは、南米の先ヒスパニック文化の社会におけるリーダーとしての女性の役割を再考させるものであったため、考古学的に非常に重要な発見であった。レディー・オブ・カオのミイラ化した遺体は、トルヒーヨの街から70キロ離れたエル・ブルホ遺跡群で、精巧に作られた宝石とともに完全な保存状態で発見された。



Lady of Cao at the Cao Site Museum, La Libertad / Photo: Antonio Escalante/PROMPERÚ

クスコ、建築の驚異

現代の世界七不思議マチュピチュが存在しなかったとしても、隣接するクスコは世界的に有名な都市であることに変わりはありません。インカ帝国の古都クスコは、それ自身がユネスコの世界遺産に登録されており、インカと植民地の歴史に溢れています。

街の外には聖なる谷があり、数多くの文化遺産があります。マラスの塩の鉱山、ピサク、チンチェロ、オリヤンタイタンボの大規模なインカ時代の集落、モライの同心円状の農耕システムなどはほんの一例です。これらすべてを1枚のチケットで訪れることができますので、旅行者の皆様には、休暇を最大限に満喫していただけます。



メイン広場、クスコ/ 写真：Gihan Tubbe/PROMPERÚ

ナスカ、謎に満ちた砂漠

ナスカが作られたその目的は何なのか、誰のために作られたものなのでしょうか？これはいまだに謎に包まれています。ナスカの魅力はそれだけではありません。カフハチのピラミッド、パルパのライン、水道橋、世界最大の砂丘、高地のビクーニャ保護区など、失われた文明の謎に触れることができます。

地域密着型ツアー



パタカンチャ

クスコのパタカンチャ（生きているインカ）は、今日ペルー人全員の誇りとなっている古代の伝統の継承者、インカに出会うまたとない機会を提供してくれます。
このマジカルでカラフルな場所で、工芸品、農業、家畜の活動などを通して、現地の文化を知ることができます。そして何よりも、人々の笑顔と温かさにも触れながら、現地の文化を体験することができます。

タキーレ島とウロス島

チチカカ湖のペルー側に位置するこの2つの島は、この地域で最も人気のある観光スポットです。タキーレ島は自然の島で、ケチュア語を話す約350家族が住んでいます。彼らが色とりどりの手織りの服を着て観光客を迎えてくれます。実際、彼らの美しく精巧な織物は、ユネスコの「人類の口承及び無形遺産の傑作」に認定されています。

このコミュニティは、織物からの収入だけでなく、農業によって自活しており、何千年も前から使われてきた伝統的な農法に従って、ジャガイモ、キヌア、広葉樹、トウモロコシを栽培しています。

ウロス諸島は、何世紀も前にウロス人によって造られた人工の浮島群です。基本的に葦で作られた浮島であるため、信じられないほど珍しい存在です。アイマラ語を話すウロス族は、自分たちのことを「地球上で最も古い民族」だと考えており、この島々の家族は、機織り、漁、野鳥の捕獲といった古伝統を守っています。



タキーレ島、プーノ / 写真：Gihan Tubbe/PROMPERÚ提供



ウロス島、プーノ / 写真：/Gihan Tubbe/PROMPERÚ提供

イベロスター・セレクション・ミラフローレス（リマ）

ラテンアメリカで25年以上の歴史を持ち、責任ある観光事業の推進に尽力しているスペインのホテルグループ、イベロスター・ホテルズ&リゾーツは、去る10月1日（2022年）、リマで初の使い捨てプラスチック・フリーのホテルをオープンしました。

ミラフローレスは、ペルーの首都で最もダイナミックで絵のように美しいモダンなエリアにあるホテルです。
パカヤ・サミアラ国立保護区に自生するビクトリア・レジアという植物の美しさにインスパイアされたデザインのアバンギャルドなホテルです。

客室は18階建て214室で、温かく快適な環境を提供しており、インフィニティ・プールのある屋上テラスからは、太平洋のパノラマビューと壮大なサンセットをお楽しみいただけます。



<https://www.iberostar.com/en/hotels/lima/iberostar-selection-miraflores/>

ノマド・アーバン (アレキパ)

ペルー初の "ホーム・ブティック" ホテル・チェーンであるノマド・ホテルズ・グループは、今年2月、アレキパに最初のホテルをオープンしました。「ホワイト・シティ」の中心部に位置する「NOMADアーバンAQP」の名のもとで「ソーシャル・ハブ」となることを目指しています。

イベロスター・セレクションは、ミレニアル世代であろうとエグゼクティブなZ世代であろうと、デジタル・ノマドのためのホテルです。ホテルでは、特別な美食の提案、qASA Careコワーキングスペースなどのワークスペース、イベント用スペース、「ミュージックコーナー」、INDIGOレストラン、AMBARバーやルーフトッパーなどのレクリエーション用スペースがあります。施設の一部は、築150年以上の古いアレキパの邸宅を利用しており、白い火山石でこの世界遺産の街に個性を与える存在になっています。



<https://nomadperu.com/>

プルマン・ミラフローレス (リマ)

プルマン・リマ・ミラフローレスは、活気に満ちた国際的でスタイリッシュなホテルです。ビジネス、レジャー、テクノロジー、そして快適さが同居する場所です。237個の客室とスイート、エグゼクティブフロア、6つの会議室、レストラン、2つのバー、ジム、オーシャンビューの屋上プールがあります。当ホテルはミラフローレスという高級地区にあり、太平洋への近さに加え、コロニアル様式の邸宅やコスタ・ベルデの素晴らしいウォーターフロントの遊歩道があります。ミラフローレスには、有名なショッピングセンター、ラルコモールもあります。この地区は、サーフィンの波、緑豊かな公園、素晴らしい食事のオプションで観光客を魅了しています。



<https://www.pullmanlimamiraflores.pe/en/>

プキオ (アレキパ)



周囲の風景の素朴さと生々しさを反映した、思慮深いテントキャンプです。プキオの滞在は、必要不可欠なものを思い出させてくれる時間になるでしょう。食事、エクスカカーション、ディスカバリー・ドライブを通して、ゲストを渓谷の体験へと誘うアンデス・スタイルの探検を楽しんでください。コルカ渓谷の奥深くで、自然に立ち返ることができます。噴煙を上げる火山、一面に広がる草原、人跡未踏の小道など、毎日が探検の連続です。アンデスの伝統的な味を生かした土窯料理や直火料理も楽しんでいただけます。夜は、素朴でエレガントな雰囲気になりますので、経験豊かな旅人の身体と精神を若返らせてくれます。



<https://www.wiredamazon.com/>

レインフォレスト・エクスペディションズ・ワイヤード・アマゾン企画
ワイヤード・アマゾンのツアーは、ペルーのタンボパタにあるレイン
フォレスト・エクスペディションズ社が実施するオフビートな科学プロ
ジェクトを集めた刺激的なツアーです。本ツアーではタンボパタ国立保
護区内のジャガーの生息数を調査することをまずの目標として、数百人
の市民科学者とともにAmazonCamを導入し、タンボパタに生息するす
べての野生動物に関する知識を深める手助けをしています。市民科学の
参加者が毎年熱帯雨林ツアー中に設置するカメラトラップを通して撮影
した写真は、このミッションに大きく貢献しています。観光客はペルー
のアマゾンで新種を発見し、地球について学び、アマゾンに生息するさ
まざまな種や環境について理解を深めることができます。



<https://treehouse lodge.com/>

ツリーハウスロッジ

ペルーアマゾンのバカヤ・サミア保護区の近く、静かで保護されたヤラバ川とクマセバ川の合流地点に位置するオールインクルーシブのツリーハウスロッジです。すべてのツリーハウスバンガローにはシャワー、洗面台、トイレ、リネンが完備されているため、野生動物を至近距離から観察しながら、まったく新しい視点から熱帯雨林を眺めるとい、一生に一度の体験ができます。



<https://trips.workingwithoutborders.com/t/www/sacredvalley>

国境なき働き方

国境なき働き方は、南米アンデス山脈のカルカ村で、ペルーの文化とインカの人々の驚くべき遺産を探索する新しいプログラムになっています。ご参加されるご家族は、そびえ立つ山々や急流に囲まれたこの地域の風景に浸ることができます。訪問者は、活気に満ちた伝統的な織物の明るく鮮やかな色に包まれ、独特の音楽、独特の料理でフレンドリーな人々でにぎわう村々を訪れることができます。親子や若者たちは、新しい友人を作り、地球上で最も注目すべき地域のひとつを発見し、家族として忘れられない体験をされることでしょう。



クエラップ観光再開

1年以上にわたる壁面の修復作業を終えて、アマゾナスの文化的象徴であるクエラップは再度、観光のお客様を迎えられるようになりました。新たなサーキットへの入場も可能になっています。

ペルーには、その美しさ、歴史、ユニークさで人々を魅了する場所が数多くありますが、クエラップは間違いなくあなたを驚かせる観光地のひとつです！古代ペルーの戦士たちの建築物であり、北東部で最も重要な考古学的モニュメントとされています。

1日90人の見学者は、入り口を囲む高さ20メートルを超える城壁の壮かさや、対峙する蛇のような石彫りの像に感嘆しながら、クエラップ遺跡を楽しむことができます。中に入ると、チャチャポヤス文化の円形建造物やその基部を飾るフリーズを観察し、雲霧林の緑豊かな風景に囲まれながら、複数の建造物の調査作業を見学することができます。



Kuélap, Amazonas / 写真：Gihan Tubbe/PROMPERÚ



チャチャポヤスの エコミュージアム

JICAが主導する「ウツクバンバ溪谷上流の文化的景観の持続可能な開発のためのプロジェクト」は、アマゾナス地域の観光開発とチャチャポヤスの文化的景観の保護・管理をうまく統合した新しい開発モデルです。

文化的景観は、長い時間をかけて、人と自然が相互作用することによって形成されます。これには歴史的遺産、経済活動、伝統文化、祭りも含まれます。これはJICAとペルー文化省、アマゾナス地方政府の共同事業です。



Karajia Sarcophagi, Amazonas / 写真：Flor Ruiz / PROMPER

PROMPERUについて

対外貿易・観光部門は、輸出可能な商品とサービス、国内およびインバウンド観光の促進、観光と輸出におけるペルーのイメージの促進と普及のための戦略と計画の策定、承認、実行、評価を担当しています。

詳細については、下記までお問い合わせください

yaquino@promperuext.pe

jcollazos@promperu.gob.pe

mhirakawa@promperu.gob.pe



Dossier PERU JAPÓN 2023